

甲斐市歴史文化資産年報5

令和2年度・令和3年度

2023

甲斐市教育委員会

序 文

山梨県の県庁所在地である甲府市の西に隣接する甲斐市は、平成16(2004)年9月に中巨摩郡竜王町・中巨摩郡敷島町・北巨摩郡双葉町が合併して誕生しました。本市のかつての景観は、農村風景がひろがるのどかな景観でしたが、戦後の高度成長期以降、平坦地を中心に宅地開発が頻繁に行われています。その結果、農村風景は一変し、現在は宅地景観が主となっています。

市域は地形から4つのエリアに分類することができます。市北部の山岳地エリアは、かつては林業従事者である柚が活躍していた地域でした。開発対象になりにくいことから、古い景観などが色濃く残っている地域です。茅ヶ岳南麓エリアは古代の国営牧場跡である「徳坂牧」の範囲に想定されているエリアです。中世、塩川周辺では鋳物師が活躍したこともわかっています。荒川扇状地エリアは「金の尾遺跡」「松ノ尾遺跡」の集落遺跡に代表されるように、古くから開発が盛んな地域であったことが、発掘調査の結果から判明しています。釜無川扇状地エリアは「信玄堤」と「竜王河原宿」が特に著名ですが、かつての釜無川の流路のなかに、島のように点在した古い集落が核となって、今の市街地を形成していることは、ほとんど知られていません。

現在、日本各地で地域の歴史文化の滅失や継承者不足といった課題がさげばれています。地域のアイデンティティである文化財を次代に伝える手立ては、文化財関係者だけでなく、行政や専門家、地域の様々な人たちの協力を得て講じていく必要があります。また、思いを同じくする“幅広い年齢層の仲間づくり”も必要と考えています。このような課題を地域社会全体で解決するため、本市では「甲斐市文化財保存活用地域計画」を作成し、令和4年12月に文化庁長官の認定を受けたところです。今後はこの計画をもとに、指定・未指定文化財を問わず、幅広く歴史文化を将来に伝えるために取り組んで参ります。

最後になりましたが、甲斐市の文化財保護行政に際し、ご理解とご協力を賜りました関係各位に深く感謝いたします。

令和5年3月31日

甲斐市教育委員会

教育長 横森 貴志

例 言

1. 本書は山梨県甲斐市における令和2年度および令和3年度における、文化財保護に関する概要を記した年報である。
2. 本年報における文化財保護に関する行政組織は次のとおりである。

令和2（2020）年度				令和3（2021）年度			
甲斐市教育委員会	教 育 長	宮坂 雄次郎		甲斐市教育委員会	教 育 長	宮坂 雄次郎	
	教 育 部 長	山田 洋			教 育 部 長	小澤 明	
生涯学習文化課	課 長	大嵩 正之		生涯学習文化課	課 長	高須 秀樹	
文化財係	係 長	齋藤 一也		文化財係	係 長	齋藤 一也	
	主 任	長谷川 哲也			主 査	長谷川 哲也	
	主 事	塩谷 風季			主 事	塩谷 風季	
					会計年度任用職員	高見澤 菜美	

令和2年度・令和3年度 文化財調査作業員登録者（順不同）

高添 美智子・望月 典子・青柳 正史・古屋 秀雄・羽中田 勲・横内 博・立花 重光・日向 充雄・手塚 松雄
齋藤 功記・笠井 治・秋山 高之助・小林 求・深澤 友子・醍醐 三郎・田中 ひとみ・瀧口 晴彦・望月 厚子
飯沼 源治・箭本 千尋・村松 圭子・安達 里香・森川 恵美・大塚 律子・赤羽 裕子・祐津 利人・青木 保志

3. 本書の執筆・編集は長谷川が行った。
4. 本書に掲載した史・資料、諸記録はすべて甲斐市教育委員会に保管してある。
5. 令和2年度および令和3年度中の文化財保護業務にあたり関係各位からご理解、ご協力を頂いた。ここに感謝申し上げる次第である。

※なお、令和4年12月16日に甲斐市文化財保存活用地域計画が文化庁長官から認定されたことを受け、本年報から書名を「甲斐市文化遺産年報」から「甲斐市歴史文化遺産年報」に改める。歴史文化資産の定義は計画本文を参照。

目 次

第1章 文化財の保存と活用	1
1. 文化財保護審議会	1
2. 甲斐市文化財保存活用地域計画	3
3. 指定文化財	5
4. 説明板設置事業	7
5. 文化財防火デー	7
6. 調査・研究	8
7. 教育・普及事業	9
第2章 埋蔵文化財	14
1. 令和2年度埋蔵文化財保護行政概要	14
2. 令和2年度 試掘調査概要	16
3. 令和3年度埋蔵文化財保護行政概要	22
4. 令和3年度 試掘調査概要	23

第1章 文化財の保存と活用

はじめに、当該年度年報の社会的背景には、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大があることを述べておく。令和元(2019)年、中華人民共和国湖北省武漢市で新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)が発見され、全世界に感染拡大した。日本国内で初めて感染が確認された令和2(2020)年1月以降、これまでの社会生活が一変し、令和2年2月25日に厚生労働省が示した「新型コロナウイルス感染症対策の基本方針」に基づき、本市主催のイベントや会議等も延期または中止となった。また、このウイルスによる感染症の正式名称は、令和2年2月11日世界保健機関(WHO)によって「COVID-19 (coronavirus disease 2019)」と定められ、令和5年1月現在もその影響下にある。

<引用・参考文献>

厚生労働省「新型コロナウイルスに関連した肺炎の患者の発生について(1例目)」(令和2年1月16日報道発表資料/令和5年1月31日ウェブサイト閲覧)

国立感染症研究所「コロナウイルスとは」(令和5年1月31日ウェブサイト閲覧)

1. 文化財保護審議会

令和2年度の文化財保護審議会は委員の改選が行われ、甲斐市文化財保護条例第20条1項に基づき、平成30年度・令和元(平成31)年度に引き続き坂本 美夫氏が会長に選任された。また、同条例第3項に基づき、坂本会長から新津健氏が職務代理に指名され、引き続きの選出となった。委員は2年任期であるため、令和2年度から令和3年度の甲斐市文化財保護審議会委員は下表のとおりとなり、全員が再任となった。なお、旧敷島町時代から長年にわたりご助言・ご指導をいただいた中込 司郎委員は、令和元年度でご退任されることとなり、後任に菰原 桂氏が委員となった。

第1表 文化財保護審議会委員名簿 (任期：令和2年4月1日～令和4年3月31日)

役 職	氏 名	担 当
会 長	坂 本 美 夫	有形文化財(考古資料)・記念物(史跡)
職務代理	新 津 健	有形文化財(歴史資料)・記念物(名勝地)
委 員	鈴 木 麻 里 子	有形文化財(彫刻・工芸品)
委 員	畑 大 介	有形文化財(歴史資料)・文化財保存修復
委 員	菰 原 桂(新任)	記念物(植物)

令和2(2020)年度 文化財保護審議会 主要議題

◆第1回(令和2年11月10日)

(1) 令和2年度文化財関係事業について

① 指定文化財保護事業

- ・国登録文化財説明板設置事業 1ヵ所(山縣神社拝殿)
- ・環境整備事業(光照寺薬師堂支障枝剪定、慈照寺火災報知機及び受信機修理)

② 文化財調査・保護事業

- ・御岳田遺跡第10次発掘調査 整理分析調査の実施
- ・文化財保存活用地域計画の作成準備

③普及・活用事業

- ・市民講座「歴史講座」の開催(全9回予定)
- ・教育普及事業
- ・竜王歴史民俗資料館解体工事について

当該資料館は昭和47(1972)年に建設、同48年に開館した。平成29(2017)年5月に山縣神社奉賛会長らが来庁し、「2021年は神社創建100周年にあたり、駐車場整備を予定している。資料館の移転について検討してもらいたい」という話があり、要望書として提出していただくよう回答した。その後、平成31(2019)年2月に山縣神社及び同神社総代会から資料館移転の要望書が提出され、同年3月に閉館し48年の歴史に幕を閉じた。閉館後、展示品及び収蔵品は専門業者に運搬・移設を委託し、牛匂の自然休養村管理センターに仮保管した。解体工事は令和2年9月に完了した。

(2) 日本遺産の認定について

令和2年1月22日に甲府市と共同で申請をした「甲州の匠の源流・御嶽昇仙峡～水晶の鼓動が導いた信仰と技、そして先進技術へ～」が、令和2年6月19日に認定された。

(3) 文化財保存活用地域計画作成準備について

(4) 峠の腰窯跡の試掘調査について(現地視察)

その他

- ・延命北辰妙見大菩薩像(竜王)について



竜王歴史民俗資料館 解体工事着手前状況



竜王歴史民俗資料館 資料搬出



仮保管場所への搬入



日本遺産認定の横断幕

◆第2回（令和3年2月22日）

- (1) 文化財保存活用地域計画作成に伴う事前調査の結果について
- (2) 日本遺産認定事項の変更について
- (3) 峠の腰窯跡の調査について

第2表 令和2年度審議会活動

開催日	内容	開催場所
令和2年 4月22日	委員委嘱状交付式（新型コロナウイルス感染拡大防止のため、委嘱状は行わず委嘱状は郵送で送付）	—
令和2年10月 9日	書面で会長等の選出を行った結果、引き続き、坂本 美夫氏が会長、新津 健氏が職務代理者に選出された	—
令和2年11月10日	第1回審議会	甲斐市役所 現地視察
令和3年 2月22日	第2回審議会	甲斐市役所

令和3(2021)年度 文化財保護審議会 主要議題

◆第1回（令和4年1月11日）

- (1) 甲斐市文化財保存活用地域計画(素案)について

その他

- ・妙善寺の榎(かや)について
- ・峠の腰窯跡発掘調査について

【甲斐市文化財保存活用地域計画(素案)についての諮問（書面開催）】

市文化財保護条例第18条第2項の規定により、審議会に素案に対する意見を求めた。当該計画素案作成中も逐一委員の方々に相談をしながら作成をしたこともあり、委員からの意見はなかった。令和4年度は、作成した素案をもとに文化庁と申請に向けた協議を行い、令和4年度後期に申請予定である。

第3表 令和3年度審議会活動

開催日	内容	開催場所
令和4年1月11日	第1回審議会	甲斐市役所
令和4年2月 7日	甲斐市文化財保存活用地域計画(素案)についての諮問(新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から書面開催)	—

2. 甲斐市文化財保存活用地域計画

令和元年度の文化財保護審議会にて議題にあげた、当該計画作成のための基礎資料調査を令和2年度に実施した。本市の歴史文化のテーマを「水・道・ムラ」と仮定し、合併前の町史誌（『竜王町史』、『竜王町史文化歴史編』、『敷島町誌』、『双葉町誌』）から歴史文化に関する記述の収集を行った。収集した総数は774件。その結果をふまえ、本市の歴史文化の特徴を「地形による生活環境の差異」、「地域ごとに異なる水との関係」とし、その特徴に沿った計画を作成することとなった。また、文化財保護法第193条の9第1項の規定に基づき、令

和3年3月17日に「甲斐市文化財保存活用地域計画協議会設置条例」を定め、令和3年度から設置する甲斐市文化財保存活用地域計画協議会(以下、協議会)設置準備を行った。

令和3年度は、文化庁の「文化芸術振興費補助金(地域文化財総合活用推進事業)」を活用し、基礎資料調査の結果に基づいた未指定文化財の現地調査、当該計画素案作成(業務委託)を実施した。現地調査は時間・予算的にも市全域を踏査することは不可能であるため、旧甲州道中などの道沿いの旧村範囲に限定して調査を行った結果、2,124件の未指定文化財を把握した。また、令和3年7月に協議会を設置し、全16名の委員と共に作成した当該計画素案の内容についてその都度協議を行った。その後、素案の市文化財保護審議会への諮問などを経て、令和4年度はこの素案をもとに文化庁の指導・助言を仰ぎながら適宜修正し、令和4年12月の文化庁長官認定を目指す。

令和2年度、3年度に実施した当該計画作成の経過を表4にまとめておく。

第4表 令和2・3年度 甲斐市文化財保存活用地域計画作成の経過

年度	年月日	内容
令和2年度	令和元年11月28日 令和2年3月24日	甲斐市文化財保護審議会において、甲斐市文化財保存活用地域計画の作成計画について説明
	令和2年度中	町史誌から歴史文化資産に関する記述を収集する基礎資料調査を行う
	令和2年11月10日	甲斐市文化財保護審議会にて基礎資料調査の途中経過を報告
	令和3年2月22日	甲斐市文化財保護審議会にて、基礎資料調査の結果報告
令和3年度	令和3年度中	基礎資料調査の結果に基づき、現地調査その後、断続的に調査結果の整理分析調査を行う
	令和3年7月16日	甲斐市文化財保存活用地域計画協議会委嘱及び第1回甲斐市文化財保存活用地域計画協議会の開催
	令和3年10月18日	第2回甲斐市文化財保存活用地域計画協議会の開催
	令和3年10月19日	骨子案について文化庁との第1回協議(オンライン)
	令和3年11月16日	第3回甲斐市文化財保存活用地域計画協議会の開催
	令和3年12月21日	第4回甲斐市文化財保存活用地域計画協議会に素案を報告
	令和4年1月11日	甲斐市文化財保護審議会に素案を報告
	令和4年1月18日	甲斐市議会総務教育常任委員会に素案を報告
	令和4年1月19日 ～2月10日	パブリックコメントの実施
	令和4年1月31日 ～2月10日	甲斐市議会・甲斐市教育委員からの意見・提言の提出
	令和4年2月15日	第5回甲斐市文化財保存活用地域計画協議会(書面開催)
	令和4年2月21日	甲斐市文化財保護審議会に素案を諮問(書面審議)
	令和4年2月24日	素案(初稿)について文化庁との第2回協議(オンライン)



令和2年度 基礎資料調査（双業整理室）



令和3年度 現地調査（漆戸）



令和3年度 現地調査（万才）



令和3年度 第1回協議会

3. 指定文化財

(1) 令和2年度

①カモシカ(国特別天然記念物)の死亡確認

令和2年4月2日、下芦沢地区にてカモシカの死骸を発見したとの連絡が市役所に入った。文化財係員2名で現場に赴き、カモシカの死亡確認・埋葬。4月3日、山梨県を通じて文化庁に報告を行った。

②妙善寺の榎(市指定天然記念物)の枝打ち

双葉西保育園新築工事の設計変更により、当該文化財の枝打ちが必要となった。令和2年6月25日に菰原委員、建設業者2名、市子育て支援課、文化財係員の5名で現場確認を行ったところ、菰原委員から、設計変更部分にかかるカヤの枝打ちは樹勢に問題はないという意見をいただいた。

③光照寺薬師堂(国重要文化財)近接樹木枝打ち事業

薬師堂西側に近接するヒノキなどを枝打ちし、強風等で枝が折れて薬師堂に被害が及ばないようにした。

④慈照寺防災設備交換事業

平成30年8月の落雷によって自動火災報知機の受信機が損傷した。機能はしているものの、今後再び損傷した場合は機能不全となることが



妙善寺の榎（撮影：令和5年1月）

判明した。また、設置から30年以上が経過し、現行機の交換部品も製造されていないことから、受信機の交換を行った。

⑤八王子神祈願図絵馬(県指定有形文化財)の所在場所変更

山梨県立博物館特別展「未来へ伝えたい 甲斐の国のたからもの～新指定文化財・収藏品展～」(期間：令和2年10月24日～12月7日)に出展するため、令和2年9月26日付けで所有者から文化財所在場所変更届が提出された。絵馬の搬入・搬出には文化財係員が立ち会った。

⑥御嶽昇仙峡(国特別名勝)内の現状変更

日本遺産認定に伴う案内パネル等を設置するため、令和2年11月9日、甲斐市長(担当：商工観光課)から文化財現状変更承認申請書が提出された。文化財保護法施行令第5条第4項第1号の規定により、市教育委員会への移譲事務となっているため、同年11月16日付で現状変更承認を通知した。

⑦慈照寺法堂(県指定建造物)の文化財き損届

慈照寺法堂の外面の一部が剥落したという報告を寺から受け、現場確認を行った。令和2年12月4日付けで山梨県にき損届を提出した。県からは、県文化財保護審議会委員や専門業者の意見を聞きながら対応を協議するとの回答を得た。なお、新型コロナウイルス感染拡大により、県外在住の県審議会委員の来県ができない状況が続いているため、意見聴取の時期は不確定である。

⑧上八幡のヒイラギ(市指定天然記念物)の枝打ち

過年度から課題となっていた、個人宅内にあるモクセイ科のヒイラギモクセイの、枯死した枝の剪定を行った。

⑨市指定無形民俗文化財の祭典中止

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、「大久保の神楽」、「下福沢の道祖神祭り」、「金剛地金山神社祭典」が全て中止となった。



上八幡のヒイラギ枝打ち



光照寺業師堂 近接樹木枝打ち

(2) 令和3年度

①八王子神祈願図絵馬(県指定有形文化財)の所在場所変更

管理者である神戸自治会での話し合いにより、絵馬を山梨県立博物館に寄託することとなり、令和3年4月10日付けで神戸自治会長から文化財所在場所変更届が提出され、山梨県に到達した。

②松尾神社本殿(市指定有形文化財)のき損

令和4年1月12日、強風のため本殿北側の杉が倒れ、本殿屋根に倒れ掛かりき損した。直ちに倒木の撤去を行い(市補助金対象)、屋根の修復について神社側と協議を行った。神社側が修復の見積り額を市に提出したところ、令和3年度予算及び令和4年度当初予算においても、対応が不可能な金額であることから、令和4年度補正予算で対応することとなった。

③市指定無形民俗文化財の祭典中止

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、「大久保の神楽」、「金剛地金山神社祭典」は、昨年度に引き続き中止となった。「下福沢の道祖神祭り」は、感染対策を講じて実施した。



松尾神社本殿 倒木状況



下福沢の道祖神祭り 片付けの様子

4. 説明板設置事業

甲斐市内には、国指定3件・県指定24件・市指定76件、合計103件の指定文化財が所在し、4件の国登録文化財がある(令和4年度現在)。市教育委員会で市民をはじめ多くの方々に広く文化財のことを知ってもらうための取り組みの一つとして、文化財説明板の整備を進めている。令和2年度・令和3年度は、国登録有形文化財の新規説明板設置を行った。設置場所は、山縣神社宮司らの意見をもとに決定した。



山縣神社拝殿 説明板



山縣神社本殿 説明板

5. 文化財防火デー

文化財防火デーに伴う、甲府地区消防本部西消防署及び峡北消防本部双葉分署による立入検査が、以下のとおり行われた。例年、光照寺薬師堂で行っている防火訓練は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、光照寺と甲斐市教育委員会の協議により中止となった。

第5表 文化財防火デー

令和2年度 第67回文化財防火デー (1/26)	
立入検査	光照寺薬師堂(1/24実施)、慈照寺、長光寺(峰観音堂)、天澤寺、金剛寺(袴腰天神本殿)、富竹新田神明神社、松尾神社、三社神社
令和3年度 第68回文化財防火デー (1/26)	
立入検査	光照寺薬師堂(1/24実施)、慈照寺、長光寺(峰観音堂)、天澤寺、金剛寺(袴腰天神本殿)、富竹新田神明神社、松尾神社、三社神社

6. 調査・研究

(1) 令和2年度

① 亀沢長田家文書の確認

令和2年9月、清川地域ふれあい館長から、「亀沢の旧家で古い絵図が出てきたから、一度見てほしい」との連絡を受け、後日、絵図の所有者と共に実見した。絵図裏書には寛政6(1794)年7月銘、内容は山論に関する絵図であることが判明した。また、所有者宅には絵図以外にも多くの古文書が残っているため相談を受けた。そのため、一度古文書をお預かりし、簡易的な目録を作成することとなった。

② 蛍光 X 線による金工品組成分析の協力依頼

令和3年3月19日、山梨大学工学部 近藤 英一教授からの協力依頼に基づき、慈照寺の梵鐘（市指定有形文化財）、松ノ尾遺跡出土の銅造仏形坐像2軀の調査対象を行った。本分析は、携帯用の分析器を用いて非破壊で分析を実施し、携帯用蛍光X分析器による美術工芸品、文化財の分析の可能性、実用性を検討するとともに、今後の金属分析研究のためのデータ蓄積を目的としている。

(2) 令和3年度

① 亀沢長田家文書の簡易目録作成

昨年度お預かりした文書の総数把握と簡易目録の作成を行った。簡易目録は「題名・年号・差出人・宛名・寸法・簡潔な内容」を記録するととめたため、文書の翻刻は行っていない。文書総数は485点で近世文書が主を占める。年代の内訳は、17世紀の文書が4点、18世紀の文書が57点、19世紀の文書が382点、20世紀の文書が20点、年代不明が22点である。最も古い文書は貞享元(1684)年7月の「牛勾村検地帳」(4点、写しの可能性あり)、最も新しい文書は大正10(1921)年の「金銭出入帳」であった。簡易目録作成後、調査カードをパソコンに入力し、データベース化を行った上で、所有者に結果を報告した。なお、お預かりした文書は、令和5年2月現在も市教委でお預かりしている。

② 大久保岡田家文書の確認

令和4年2月に市教委に連絡があり、文書等を実見した。所有者は市にご寄付いただく意向であったため、一度文書等をお預かりして総数把握を行ったところ504点であった。令和4年度にご寄付いただいたのちに、簡易目録作成を行う。



亀沢長田家文書 保管状況



大久保岡田家文書 (実見時)

7. 教育・普及事業

甲斐市内や甲斐市に関係する文化財について、市民の方に広く理解してもらう歴史講座と、講師派遣依頼に基づいた市内文化財の解説等を行った。令和2年度は、新型インフルエンザ等対策特別措置法第32条に基づく緊急事態宣言や、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から通常とは異なる開催となった。令和3年度は、ガイドライン等に沿って最大限の感染拡大防止に努めつつ実施した。

第6表 令和2年度 歴史講座(全7回)

開催日	講座名	講師	内 容	参加人数
11月7日 11月19日 11月28日	鉱物資源<水晶・金>の歴史を訪ねて	出月 洋文氏 (甲斐黄金村・湯之奥金山博物館長)	11/7: 座学 11/19: 現地研修…金櫻神社・水晶宝石博物館・山梨ジュエリーミュージアム 11/28: 現地研修…甲斐黄金村・湯之奥金山博物館	12 14 15
12月19日	子ども歴史講座 大きな勾玉づくり①②	村松 圭子氏 (山梨県考古学協会)	午前・午後に分けて実施	17
2月20日	子ども歴史講座 大きな勾玉づくり③④	村松 圭子氏 (山梨県考古学協会)	同上	13



鉱物資源<水晶・金>の歴史を訪ねて
(金櫻神社・出月洋文氏)



鉱物資源<水晶・金>の歴史を訪ねて
(甲斐黄金村・湯之奥金山博物館)

第7表 令和3年度 歴史講座(全11回)

開催日	講座名	講師	内 容	参加人数
7月24日	子ども歴史講座 大きな勾玉づくり①②	村松 圭子氏 (山梨県考古学協会)	午前・午後に分けて実施	12 12
9月28日	身近な遺跡!? 遺跡の見方・楽しみ方を 知ろう!	市職員	入門編	15
10月5日 10月19日		新津 健氏 (市文化財保護審議会 委員)	旧石器時代・縄文時代 縄文土器と弥生土器の違い	15 16
11月2日 11月16日		坂本 美夫氏 (市文化財保護審議会 委員)	古墳時代 奈良・平安時代	15 17
11月30日 12月14日		畑 大介氏 (市文化財保護審議会 委員)	中世～近現代 (1) 中世～近現代 (2)	16 15
12月21日		新津 健氏 (市文化財保護審議会 委員)	山と丘と平地の資産 (まとめ)	16



大きな勾玉づくり (村松圭子氏)



身近な遺跡!? 遺跡の見方・楽しみ方を知ろう!
(坂本美夫氏)

第8表 令和2年度 講師派遣依頼

開催日	依頼者	対象	内容	参加人数
5月14日 (中止)	双葉東小学校長	小3	往生塚古墳 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)	—
7月21日 (中止)	東京都市大学付属中学校長 (世田谷区)	中1	信玄堤 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)	—
7月22日	熊井の歴史を語る会 (長野県塩尻市)	一般	信玄堤	15
8月 1日	積石塚・渡来人研究会長	一般	巨摩郡の地域開発	50
8月23日	小杉まちづくり協議会長 (富山県射水市)	一般	「明治維新の源流を創った男たちを将来に語り継ぐフォーラム」パネラー	270
9月 1日	玉幡小学校長	小3	信玄堤	57
9月14日	人事課長	大学生	昇仙峡の課題等 (山梨大学インターンシップ)	4
9月25日	鳴沢小学校長	小5	信玄堤	17
10月15日	竜王西小学校長	小4	おみゆきさん	61
10月16日	山梨ことぶき勸学院長	一般	歴史が創られた背景を観る・日本遺産	20
10月21日	双葉西小学校長	小2	双葉歴史民俗資料館見学	7
10月23日	竜王北小学校長	小4	信玄堤・石積出し・将棋頭	67
10月24日	山梨県埋蔵文化財センター 所長	一般	遺跡調査発表会 (御岳田遺跡第10次調査)	47
10月24日	甲府城下町を語る会長	一般	甲斐国の中・近世の城と館	35
10月28日	大下条いきいきサロン	一般	住んでいる土地の成り立ちを知る	25
10月29日	敷島南小学校長	小4	おみゆきさん、県内の文化財について	55
11月 4日	竜王東小学校長	小4	信玄堤・石積出し・将棋頭	44
11月 5日 11月 6日	敷島南小学校長	小4	信玄堤・石積出し・将棋頭 (クラスごと実施)	27 28
11月 7日	敷島公民館長	一般	敷島公民館講座に伴う羅漢寺解説	25
11月 7日	富竹新田3区いきいきサロン	一般	住んでいる土地の成り立ちを知る	20
11月30日 (中止)	東武トップツアーズ株式会社 松本支店長	児童	信玄堤 (松本市立梓川小学校) (新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)	—

開催日	依頼者	対象	内 容	参加人数
12月10日	清川地域ふれあい館長	一般	古文書が語る山村の歴史	20
1月15日	童王南小学校長	小3	道具と今とむかし(クラスごと実施)	52
1月19日	月林区いきいきサロン	一般	住んでいる土地の成り立ちを知る	10
1月23日 (延期)	積石塚・渡来人研究会長	一般	巨麻郡域の開発と渡来人(新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期)	—
1月28日	童王北小学校長	小3	道具の今とむかし(クラスごと実施)	83
2月22日	童王北小学校長	小3	中秣塚古墳の見学	83
2月22日	童王小学校長	小3	道具の今とむかし(クラスごと実施)	70
3月10日	甲斐シティーロータリークラブ会長	一般	信玄塚	20
講師依頼件数 合計 29 件 参加人数 合計 1,212 人				



明治維新の源流を創った男たちを将来に語り継ぐフォーラム(富山県射水市)



同上



明和事件で山縣大弐と共に処刑された
藤井右門墓所(同上)

第9表 令和3年度 講師派遣依頼

開催日	依頼者	対象	内 容	参加人数
4月21日	竜王中部公園セミナーハウス所長	一般	セミナーハウス講座「竜王ヒストリア 信玄堀編(座学)」	12
4月27日	文化協会郷土研究部長	一般	日本遺産と御嶽道	15
4月28日	竜王中部公園セミナーハウス	一般	セミナーハウス講座「竜王ヒストリア 信玄堀編(現地見学)」	12
5月18日	双葉東小学校長	小3	往生塚古墳の見学	105
5月24日	高原団地いきいきサロン	一般	甲斐市の歴史(大袋を中心に)	30
6月8日	敷島南小学校長	小4	信玄堀	81
6月15日(中止)	玉幡小学校長	小4	信玄堀(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)	—
6月21日	竜王新町いきいきサロン(花みずぎの会)	一般	竜王新町の歴史	15
7月10日(中止)	清川地域ふれあい館長	一般	(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)	—
8月4日	竜王南部公民館長	児童保護者	子どもふれあい講座「チャレンジ!ドキ土器体験」(土器洗浄・選別・拓本体験)	10
8月18日	中巨摩教育協議会長ほか	教員	敷島・双葉地区の自然や文化財について(遺跡・町の変遷・地名)	27
8月18日	敷島新町いきいきサロン	一般	敷島新町付近の歴史	18
10月7日	登美団地いきいきサロン	一般	登美団地付近の歴史	25
10月14日	高麗1300会長(埼玉県日高市)	一般	古代甲斐国ツアーに伴う天狗沢瓦窯跡の現地解説	30
10月14日	甲府市	一般	日本遺産ガイド養成講座に伴う羅漢寺の説明	25
10月15日	竜王北小学校長	小5	水に関わる遺跡・伝説など	69
10月21日	双葉西小学校長	小2	双葉歴史民俗資料館見学	7
10月22日	西町いきいきサロン	一般	御嶽道	13
10月26日	竜王西小学校長	小4	信玄堀とおみゆきさん(学校で授業)	57
10月27日	大下条いきいきサロン	一般	石造物の見方	15
10月28日	竜王北小学校長	小4	信玄堀(学校で授業)	84
10月30日	人事課長	新任職員	御嶽道の説明・案内(新任職員研修)	20
11月2日	竜王東小学校長	小4	信玄堀・石積出し・将棋頭	46
11月10日	中巨摩教育協議会長ほか	教員	敷島・双葉地区の自然や文化財について(文化財の見方・楽しみ方を知ろう!)	36
11月12日	竜王小学校長	小4	信玄堀とおみゆきさん	70
11月27日(中止)	吉沢地域ふれあい館長	一般	穴山氏の史跡巡り(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)	—
11月29日	敷島公民館長	一般	敷島公民館講座に伴う羅漢寺説明	20
12月5日	双葉西小学校長	小3	双葉西小周辺の歴史文化に関する質問	50
1月18日	月林区いきいきサロン	一般	武田家と甲斐市、竜王の地名(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)	—

開催日	依頼者	対象	内 容	参加人数
1月21日 (中止)	双葉西小学校長	小3	かわる道具とくらし (新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)	—
1月22日	甲府市	一般	日本遺産市民講座に伴う羅漢寺説明	27
2月8日 (中止)	名取いきいきサロン	一般	(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)	—
2月14日 (中止)	竜王南小学校長	小3	かわる道具「今とむかし」(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)	—
2月18日 (中止)	陸沢地域ふれあい館長	一般	市北部地域の歴史文化 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)	—
2月22日	敷島南小学校長	小3	かわる道具「今とむかし」	76
2月25日	竜王南部公民館長	一般	南部公民館講座「旧玉川村を歩く」(座学)	9
3月1日	竜王小学校長	小3	かわる道具とくらし	62
3月4日	竜王南部公民館長	一般	南部公民館講座「旧玉川村を歩く」(現地見学)	10
3月23日 (中止)	大下条いきいきサロン	一般	(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)	—
講師依頼件数 合計 39 件 参加人数 合計 1,076 人				



高麗1300(高麗浪漫学会)天狗沢瓦窯跡見学



敷島南小 かわる道具「今とむかし」



竜王南部公民館講座「旧玉川村を歩く」

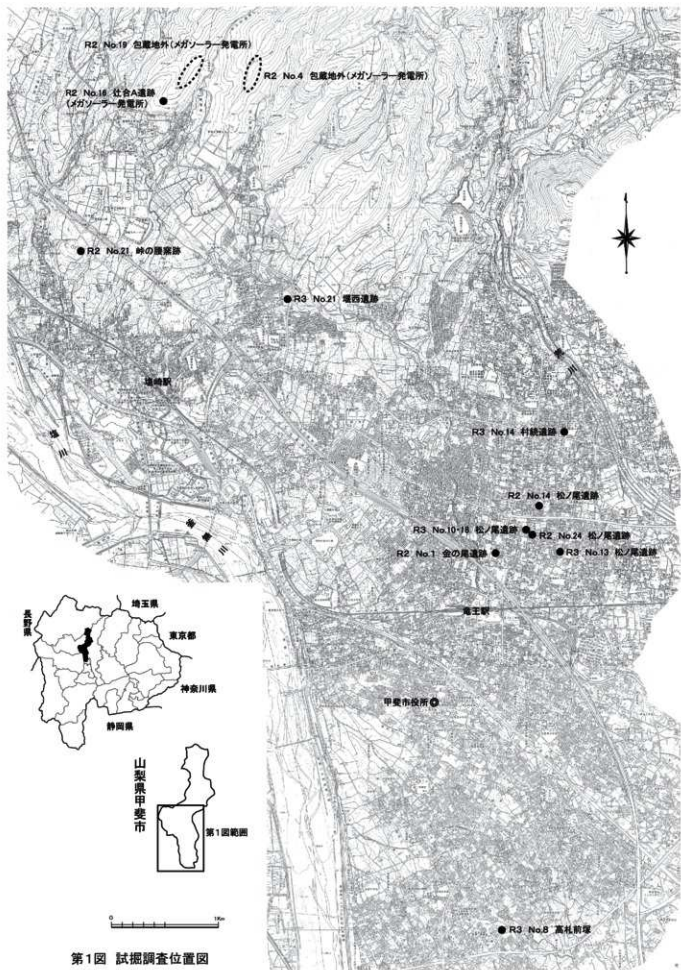
第2章 埋蔵文化財

1. 令和2年度 埋蔵文化財保護行政概要

当該年度の試掘件数は第10表に示したとおりである。No.1金の尾遺跡、No.21峠の腰窯跡は本調査対応となった。

第10表 令和2年度 試掘調査一覧

No.	遺跡名	時代・時期	調査地点	対象面積 (㎡)	発掘面積 (㎡)	調査原因	調査期間	主な遺構	主な遺物	試掘指示通知番号	届出受付No.
1	金の尾遺跡	縄文・弥生・古墳・平安	大下条字金ノ尾 724-5	238.16	89.7	個人住宅表層改良工事調査	R.2.4.8～4.28	形穴建物跡1軒ほか	古墳・平安文 3567号	令和2年3月17日付・教学文第299号	前年度受付No.82
2	曾利遺跡	縄文	団子新居字曾利 408-5	216.33		個人住宅浄化槽	R.2.4.22	なし	なし	令和元年11月1日付・教学文第2299号	前年度受付No.56
3	判家塚	古墳	竜王字判家塚 1203-1他	1711	21.7	宅地造成工事	R.2.5.12	なし	なし	令和2年4月14日付・文化第141号	前年度受付No.97
4	依蔵地外(メガソーラー発電所/第3工区-1)		団子新居字大沢 1582-2	1477.86	19	メガソーラー発電所建設	R.2.5.19～5.22	なし	なし	(99案)遺達：令和2年5月29日付・甲斐生第5-93号	前年度試掘依頼
5	松ノ尾遺跡	縄文・弥生・古墳・平安・中世	中下条字御証作 1456-2	409	12.5	集合住宅建設	R.2.6.1	なし	古墳・平安文の土器片	令和2年5月1日付・文化第499号	受付No.8
6	曾利遺跡	縄文	団子新居字曾利 419-12	235.99		集合住宅建設	R.2.6.2	なし	なし	令和2年7月14日付・文化第1404号	受付No.34
7	沖田遺跡	縄文・弥生・中世	竜王新町字沖田 960-10他	1646.96	23.2	宅地造成工事	R.2.6.8	なし	なし	令和2年4月22日付・文化第303号	受付No.6
8	信玄塚	中世・近世	竜王字西裏 2039-1の一部	733.24	1.6	個人住宅浄化槽	R.2.6.23	なし	なし	令和2年3月10日付・教学文第3457号	前年度受付No.91
9	曾利遺跡	縄文	団子新居字曾利 419-3	207		個人住宅浄化槽	R.2.6.23	なし	なし	令和2年3月23日付・教学文第3572号	前年度受付No.92
10	曾利遺跡	縄文	団子新居字曾利 419-4	205		個人住宅浄化槽	R.2.6.23	なし	なし	令和2年3月23日付・教学文第3573号	前年度受付No.93
11	曾利遺跡	縄文	団子新居字曾利 408-7	224		個人住宅浄化槽	R.2.6.25	なし	なし	令和2年3月27日付・教学文第3660号	前年度受付No.95
12	二ツ塚遺跡	古墳	竜王新町字大原 2102-15他	251.66		個人住宅浄化槽	R.2.7.22	なし	なし	令和2年7月20日付・文化第1482号	受付No.36
13	信玄塚	中世・近世	竜王字宮の前 1944-1	400	21.8	宅地造成工事	R.2.7.29	なし	なし	令和2年6月2日付・文化第868号	受付No.15
14	松ノ尾遺跡	縄文・弥生・古墳・平安・中世	中下条字御証作 1434-20他	916.93	32	宅地造成工事(敷地延長)	R.2.8.3～8.13	形穴建物跡1軒ほか	平安文の土器片	令和2年6月16日付・文化第1029号	受付No.20
15	曾利遺跡	縄文	団子新居字曾利 419-11	244.45		個人住宅浄化槽	R.2.9.14	なし	なし	令和2年5月28日付・文化第840号	受付No.13
16	辻合A遺跡(縄文/メガソーラー発電所/第2工区)		高瀬沢字蛸山 988(試験前に工事着工が判明)	1393	38.5	メガソーラー発電所建設	R.2.10.14～10.15	なし	なし	令和2年3月4日付・教学文第3350号	前年度受付No.89
17	曾利遺跡	縄文	団子新居字曾利 408-12	210		個人住宅浄化槽	R.2.10.15	なし	なし	令和2年5月28日付・文化第840号	受付No.14
18	深田B遺跡	縄文	大下条字深田 339-1	1313	15	宅地造成工事	R.2.10.30	なし	なし	令和2年9月18日付・文化第2120号	受付No.45
19	依蔵地外(メガソーラー発電所/第4工区)		高瀬沢字西平 2066-3	10794	64.345	メガソーラー発電所建設	R.2.11.2	なし	なし	(99案)遺達：令和2年11月9日付・甲斐生第11-19号)	受付No.25 試掘依頼1
20	榎西遺跡	縄文	大笠字松葉 497-2他	261.06		個人住宅浄化槽	R.2.11.2	なし	なし	令和2年8月25日付・文化第1856号	受付No.43
21	峠の腰窯跡	近世	宇津谷字峠ノ腰 1314	10742	27.8	農道改良工事	R.2.11.9～12.11	灰原	近世の土器片	令和2年4月14日付・文化第142号	受付No.1
22	鹿塚	中世・近世	富竹新田字常光寺 971-9	166.48		個人住宅浄化槽	R.3.3.3	なし	なし	令和2年12月21日付・文化第3147号	受付No.80
23	吉沢入遺跡	縄文・奈良・平安	吉沢字窪田 735-1	193.99		個人住宅浄化槽	R.3.3.9	なし	なし	令和3年1月29日付・文化第3490号	受付No.82
24	松ノ尾遺跡	縄文・弥生・古墳・平安・中世	大下条字松ノ尾 1113-1他	856	16.2	宅地造成工事(敷地延長)	R.3.3.19～3.23	形穴建物跡1軒ほか	平安文の土器片	令和2年12月14日付・文化第3048号	受付No.71



第11表 令和2年度 開発の届出（通知）件数

	93条 (民間開発)	94条 (公共工事)	試掘依頼 受付	計
試掘調査指示	13	1	1	15
工事立会指示	45	5	—	50
慎重工事指示	21	6	—	27
計	79	12	1	92

※年度内に文化財保護法に基づく届出・通知及び試掘依頼書を受理し、指示等を行った件数

第12表 令和2年度 包蔵地問合せ件数

	包蔵地内	包蔵地外	計
件数	181	989	1,170

2. 令和2年度 試掘調査概要

試掘調査の結果、遺構・遺物を確認した遺跡及びメガソーラー発電所建設に関する試掘調査結果を、以下に記述する。

No.1 ^{かね} ^お金の尾遺跡

所在地 大下条724-5

調査原因 個人住宅本調査

調査期間 令和2年4月8日～28日

調査面積 89.7㎡

調査担当 塩谷風季

令和2年3月24日～30日にかけて試掘調査を行った結果、表層改良実施予定の深度内(地表下90cmまで)で遺構・遺物を確認した。工事によって遺跡が破壊されることは回避できないため、本調査対応となった。

調査対象となる場所は狹隘であり、表土及び排土置き場の確保が困難であった。したがって、調査区を東西に分けて実施した。なお、掘削は表層改良によって破壊される深度まで行ったため、遺構のほとんどは完掘していない。

検出遺構は竪穴建物跡1軒(東区)、竪穴状遺構4基(西区4基)。出土遺物は土師器片、須恵器片、石器、黒曜石片である。時期は古墳時代後期と推定。



東区 竪穴建物跡 (西から)



東区 竪穴建物跡 カマド (南から)



西区 竪穴状遺構（東から）



西区 竪穴状遺構 土器出土状況（東から）



西区 竪穴状遺構 土器出土状況（甕・長胴壺）



同左

No.4 包蔵地外（メガソーラー発電所／第3工区-1）

所在地 団子新居字大沢 1582-2
調査原因 試掘依頼（依頼者：㈱ブルーキャピタルマネジメント）
調査期間 令和2年5月19日～22日
調査面積 199㎡
調査担当 長谷川哲也

当該開発予定地は山林地であるため分布調査を行っておらず、埋蔵文化財包蔵地に該当するかが不明である。事業者と協議し、事業者工後の遺跡の不時発見を防ぐため、かつ開発予定地が広大なことから樹木伐採後に試掘調査を行うこととした（対応は平成27年3月に実施した菖蒲沢・団子新居地内のメガソーラー発電所建設工事に伴う試掘調査と同様の対応である〔「甲斐市文化遺産年報2」参照〕）。

事業予定地はほとんどが急峻な斜面であったため、ごく一部の緩斜面を試掘対象とした。トレンチを9本設定し、いずれも地表下20～30cmで茅ヶ岳南麓地域の地山である褐色土（粘性・しまり非常に強い／安山岩の円礫を少量含む）を検出。また、トレンチの一部を地表下100cm程度まで深掘りしたところ、茅ヶ岳及び黒富士火山に起因すると思われる火山性土壌を確認した。どの層位からも遺構・遺物は発見されなかった。

なお、樹木伐採後に事業者の重機が稼働していたことから、表土と地山が攪拌された場所、伐採した樹木を埋めた箇所が複数見られた。加えて、事業者代理人には従前より「事業予定地内に遺構・遺物が存在した場合、伐根をすると遺跡の破壊につながるので伐根はしないこと」を伝えてあったが、調査区内で複数の伐根箇所を確認したため、試掘調査結果の回答にて注意を行った。



調査前風景（北から）



トレンチ掘削風景（北から）



トレンチ深掘り 土層堆積状況（南から）



太陽光パネル設置状況（南から）

No.14 松ノ尾遺跡

所在地 中下条字御証作 1434-20 他
調査原因 宅地造成工事（事業者：西甲府住宅㈱）
調査期間 令和2年8月3日～13日
調査面積 32㎡
調査担当 長谷川哲也

当該開発予定地は松ノ尾遺跡第8次調査区、同15次調査区の隣接地である。敷地延長の宅地造成工事であったが、事業者にご協力いただき、試掘調査を行った。弥生時代後期から古墳時代前期にかけての竪穴建物跡1軒、時期不明の竪穴建物跡1軒、竪穴状遺構2基、土坑6基以上、ピット複数基を検出した。出土遺物は数点であったが、弥生時代後期、古墳時代、平安時代の土器片が出土した。出土遺物が少なく時期の特定が困難であったが、隣接地で検出した遺構とほぼ同時期の遺構と思われる。



トレンチ1 遺構検出状況（西から）



トレンチ2 遺構検出状況（南東から）

No.16 ^{つじあい} 辻A遺跡 (メガソーラー発電所/第2工区)

所在地 菖蒲沢字蛤山 988

調査原因 メガソーラー発電所建設工事 (事業者: 合同会社フジワラ)

調査期間 令和2年10月14日～15日

調査面積 38.55 m²

調査担当 長谷川哲也

当該遺跡は谷と急斜面に立地している遺跡である。事業用地はほとんどが急斜面で、重機での掘削場所が限られていた。したがって、当該遺跡範囲を試掘調査し、遺構・遺物が確認できれば包蔵地外の調査に着手し、遺跡の広がりを調べることにした。2本のトレンチを設定し掘削したところ、地表下25cmで褐色土(粘性・しまり非常に強い)の地山、地表下50cmで安山岩質の礫を含む褐色土の地山であった。遺構・遺物は確認されなかった。

なお、試掘調査前に包蔵地に含まれている調整池の掘削が判明した。ただちに代理人に連絡し、顛末の説明を受ける。調整池の土層断面を観察したところ、遺構・遺物は確認されなかった。生涯学習文化課長の指示を仰ぎ、代理人等に口頭で注意を行った。



調査風景 (南から)



調査風景 (東から)



土層堆積状況 (西から)



調整池 土層堆積状況 (東から)

No.19 包蔵地外 (メガソーラー発電所/第4工区)

所在地 菖蒲沢字西平 2066-3

調査原因 試掘依頼 (依頼者: 甲斐太陽光第一合同会社)

調査期間 令和2年11月2日

調査面積 64.345 m²

調査担当 長谷川哲也

No.4と同様の対応をとった。事業予定地はほとんどが急峻な斜面であり、試掘可能な場所が限られていた。

そのため、前頁地番の所在する比較的緩やかな傾斜の谷部を調査対象とした。4本のトレンチを設定し、地表下20cmで褐色土(粘性・しまり非常に強い)の地山を検出。トレンチの一部を深掘りしたところ、褐色土の地山の下層は、No4・No16と同様の茅ヶ岳及び黒富士火山に起因すると思われる火山性土壌を確認した。また、どの層位からも遺構・遺物は発見されなかった。



調査区遠景 (北から)



調査風景 (北から)



トレンチ2 土層堆積状況 (北から)



開発予定地付近 露頭 (西から)

No21 峠の腰窯跡

所在地 宇津谷峠ノ腰 1314

調査原因 農道拡幅工事 (事業者: 山梨県中北農務事務所)

調査期間 令和2年11月9日～12月11日

調査面積 27.82 ㎡

調査担当 長谷川哲也

農道建設時に本遺跡周辺を掘削したところ、大量の土器片が出土したと伝わる。1989年に山梨県埋蔵文化財センターが生産遺跡(窯業遺跡)分布調査に伴う調査を行ったところ、江戸時代後期の登り窯1基、灰原を確認している。本試掘調査では、県の調査を参考に当該地番内にトレンチを設定し、灰原の残存状況と窯跡の範囲確認を行った。事業用地内に窯跡は含まれないことが判明したため、拡幅によって掘削される灰原部分が本調査対象となった(令和4年度に発掘調査、令和5年度に整理分析調査を実施)。



農道法面 土器等露出状況 (南から)



調査風景 (南から)



壁体検出状況 (東から・事業用地外)



石積み検出状況 (東から・事業用地外)

No24 松ノ尾遺跡

所在地 大下条字松ノ尾 1113-1他

調査原因 宅地造成工事(事業者:リオ・不動産コンサル株)

調査期間 令和3年3月19日～23日

調査面積 16.2㎡

調査担当 長谷川哲也

当該開発予定地は敷地延長の宅地造成工事であったが、事業者にご協力いただき、試掘調査を行った。家屋が建っていたためか、ほとんどが重機によって攪拌されており、遺物はカクランから出土した数点に留まる。トレンチ北端の地表下50cmで堅穴建物跡の床面と思しき硬化面を検出したが、それ以外は全て攪拌されていた。周辺での調査事例から古墳時代後期ないし平安時代後期の遺構と思われるが、前述のとおり重機による攪拌を受けていることから、時期の特定は困難である。



遺構検出状況 (南から)



トレンチ掘削状況 (南から)

3. 令和3年度 埋蔵文化財保護行政概要

当該年度の試掘件数は第13表に示したとおりである。

第13表 令和3年度 試掘調査一覧

No.	遺跡名	時代・時期	調査地点	対象面積 (㎡)	発掘面積 (㎡)	調査原因	調査期間	主な遺構	主な遺物	試掘指示通知番号	届出受付No.
1	原羅遺跡	古墳・平安	島上条字山宮地 1066-1 他	987.72	16	宅地造成 工事	R.3.6.24	なし	なし	令和3年5月26日付・文化 第907号	受付No.3
2	依頼 包蔵地外(県道新設工事)		篠原 3047-1		16	県道建設 工事	R.3.6.25	なし	なし	(99 条准連: 令和3年7月1 日付・甲斐生第7-5号)	受付No.6 試掘依頼1
3	古村東遺跡	近世	篠原 212-1 他		14.4	県道建設 工事	R.3.7.15	なし	なし	令和3年6月14日付・文化 第1252号	受付No.7
4	依頼 包蔵地外(県道新設工事)		篠原 393-2	22460.5	19.5	県道建設 工事	R.3.7.20	なし	なし	(99 条准連: 令和3年7月 27日付・甲斐生第7-88号)	受付No.6 試掘依頼1
5	依頼 包蔵地外(県道新設工事)		篠原 1504-1		94.4	県道建設 工事	R.3.8.5	なし	なし	(99 条准連: 令和3年8月 12日付・甲斐生第8-51号)	受付No.6 試掘依頼1
6	依頼 包蔵地外(県道新設工事)		西八幡 1039-10		23.4	県道建設 工事	R.3.8.6	なし	なし	(99 条准連: 令和3年8月 12日付・甲斐生第8-54号)	受付No.6 試掘依頼1
7	北浦遺跡	縄文	縄地字地蔵原 5353-8	203.96	3	個人住宅 浄化槽	R.3.8.16	なし	なし	令和3年7月9日付・文化 第1612号	受付No.18
8	高礼前塚	近世	西八幡字高礼前 1764-1 他	6032.88	114.54	宅地造成 工事	R.3.8.25 ～26	なし	平安・中 世・近世 の土器片	令和3年7月8日付・文化 第1381号	受付No.17
9	曾利遺跡	縄文	団子新居字曾利 551-4	229.47	3	個人住宅 浄化槽	R.3.9.7	なし	なし	令和3年5月18日付・文化 第749号	受付No.1
10	松ノ尾遺跡	縄文・弥生・ 古墳・平安・ 中世	大下条字松ノ尾 1072-1 他	995	12.4	宅地造成 工事	R.3.9.15	ピット	古墳及び 江戸時代の 土器片	令和3年7月12日付・文化 第1634号	受付No.14
11	曾利遺跡	縄文	団子新居字曾利 419-5	204.8	3	個人住宅 浄化槽	R.2.10.15	なし	なし	令和3年8月12日付・文化 第2001号	受付No.27
12	曾利遺跡	縄文	団子新居字曾利 408-13	205	3	個人住宅 浄化槽	R.3.10.20	なし	なし	令和3年7月28日付・文化 第1850号	受付No.23
13	松ノ尾遺跡	縄文・弥生・ 古墳・平安・ 中世	大下条字東側 143-17	565	19	個人住宅 真層改良	R.3.10.22	なし	古墳・平 安の土器 片	令和3年10月7日付・文化 第2714号	受付No.42
14	依頼 村統遺跡	古墳・奈良・ 平安	島上条 215-4	674.47		消防団詰所 建設	R.3.12.3	なし	平安の土 器片ほか	(99 条准連: 令和3年12 月9日付・甲斐生第12-34 号)	受付No.66 試掘依頼2
15	八幡遺跡	近世	竜王新町字八幡 1833-2	259.81	3	個人住宅 浄化槽	R.3.12.6	なし	なし	令和3年11月2日付・文化 第3008号	受付No.56
16	大原北遺跡	古墳	竜王新町字大原 2225-1 の 一部	229.27	3	個人住宅 浄化槽	R.3.12.22	なし	なし	令和3年8月30日付・文化 第2219号	受付No.38
17	大原北遺跡	古墳	竜王新町字大原 2225-1 の 一部	294.95	3	個人住宅 浄化槽	R.3.12.23	なし	なし	令和3年8月12日付・文化 第2002号	受付No.29
18	依頼 松ノ尾遺跡	縄文・弥生・ 古墳・平安・ 中世	大下条 1073-1	332.98	8	調査事前 調査	R.4.1.6	溝状遺構 1基	古墳・平 安・中世 の土器片	(99 条准連: 令和4年1月 1日付・甲斐生第1-12号)	受付No.71 試掘依頼3
19	大原北遺跡	古墳	竜王新町字大原 2225-1 の 一部	252.09	3	個人住宅 浄化槽	R.4.1.7	なし	なし	令和3年6月22日付・文化 第1336号	受付No.11
20	霞場	中世・近世	富竹新田字久保田 2351-3 他	108.06	3.4	個人住宅 浄化槽	R.3.2.16	なし	なし	令和3年10月21日付・文 化第2856号	受付No.54
21	依頼 壱西遺跡	縄文	大袋 704 他	355.9	56	調査事前 調査	R.4.2.28 ～3.1	なし	近世の土 器片	(99 条准連: 令和4年3月4 日付・甲斐生第3-7号)	受付No.80 試掘依頼4
22	霞場	中世・近世	富竹新田字久保田 2365-23	221.96	3	個人住宅 浄化槽	R.4.3.1	なし	なし	令和3年9月6日付・文化 第2329号	受付No.43
23	曾利遺跡	縄文	団子新居字曾利 322-4	207	3	個人住宅 浄化槽	R.4.3.25	なし	なし	令和4年1月11日付・文化 第3397号	受付No.77
24	曾利遺跡	縄文	団子新居字曾利 419-13	258.15	3	個人住宅 浄化槽	R.4.3.31	なし	なし	令和4年1月4日付・文化 第3727号	受付No.76

第 14 表 令和3年度 開発の届出件数

	93 条 (民間開発)	94 条 (公共工事)	試掘依頼 受付	計
試掘調査指示	21	1	4	26
工事立会指示	47	5	—	52
慎重工事指示	12	4	—	16
計	80	10	4	94

第 15 表 令和3年度 包蔵地問合せ件数

	包蔵地内	包蔵地外	計
問い合わせ件数	214	1,142	1,356

4. 令和3年度 試掘調査概要

遺構・遺物のいずれかを確認した遺跡を以下に記述する。

No.8 こうまつままつか 高札前塚

所在地 西八幡字高札前 1764-1 他

調査原因 宅地造成工事（事業主：㈱バナホーム山梨）

調査期間 令和3年8月25日～26日

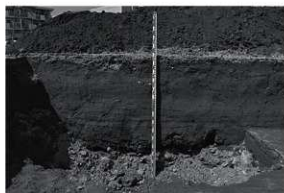
調査面積 114.54 m²

調査担当 塩谷風季

釜無川扇状地に立地する本遺跡は、「竜王町の遺跡」(竜王町教育委員会)によると、「塚径3.5m、高3m」との記述があるが、塚は見当たらなかった。トレンチを2本設定し、一部を地表下最大167cmまで掘削したところ、現況水田面以外に3面の旧水田面を検出した。最下層は褐灰色砂礫層である。遺物は旧水田面から数点出土したが、遺構に伴うものではない。



調査風景（北西から）



土層堆積状況（西から）

No.10 松ノ尾遺跡

所在地 大下条字松ノ尾 1072-1他
調査原因 宅地造成工事（事業主：㈱クローバー）
調査期間 令和3年9月15日
調査面積 12.6㎡
調査担当 長谷川哲也

事業者にご協力いただき、擁壁設置箇所の試掘調査を実施した。擁壁の最大掘削深度は地表下50cmであるので、調査深度は最大50cmまでとした。土層は旧水田面（耕作土・床土）、赤褐色土層（地表下50cm）であり、赤褐色土層でピット等を検出した。遺物は旧水田面の床土、赤褐色土層中から古墳時代の土師器と近世の陶器片が数点出土した。



トレンチ掘削状況（南から）



土層堆積状況（南から）

No.13 松ノ尾遺跡

所在地 大下条字東側 143-17
調査原因 個人住宅表層改良工事（事業主：個人）
調査期間 令和3年10月22日
調査面積 15㎡
調査担当 塩谷風季

住宅建設予定地内の東西にトレンチを設定した。トレンチ西端から東へ50cm程度が攪拌を受けていない部分で、旧建物の範囲は解体時の工事に際して現地表面約90cm以下まで攪拌されていた。そのような状態であったため、遺物は古墳時代と平安時代の土器片が少量出土したものの、遺構は検出されなかった。



トレンチ掘削状況（東から）



トレンチ南西端 土層堆積状況

No.14 村続遺跡

所在地 島上条 215-4

調査原因 試掘依頼（依頼者：甲斐市長）

調査期間 令和3年12月3日

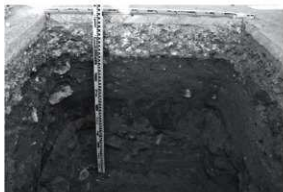
調査面積 1㎡

調査担当 塩谷風季

消防団詰所建設工事前の試掘依頼によって調査を実施した。現地は敷島小学校職員駐車場としても使用しているため、調査範囲は1㎡と極めて狭い範囲であり、そのため調査内容は土層確認にとどまった。地表下約60cmまで攪乱層。地表下約60～92cmで明褐色砂質土の地山。その下層は明褐色砂質土の砂礫層となる。攪乱層から現代のゴミと一緒に少量の土器片と瓦片・磁器片が出土した。



調査風景（北から）



土層堆積状況（南から）

No.18 松ノ尾遺跡

所在地 大下条 1073-1

調査原因 試掘依頼（依頼主：㈱東栄住宅 甲府営業所）

調査期間 令和4年1月6日

調査面積 8㎡

調査担当 長谷川哲也

調査区はNo.13で試掘調査を実施した分譲地の一部である。2棟の建物建設前に埋蔵文化財の有無を調べるため、93条届出前に試掘調査を実施した。駐車場建設予定地に2m四方のテストピットを設け、地山まで掘削を行った。地表下約70cmで遺物包含層（黒褐色土）を確認、地表下約100cmで砂質褐色土の地山を確認した。溝状遺構1基を検出したほか、遺物包含層からは縄文時代の石器、古墳時代・平安時代の土師器片、中世の陶器片などが出土した。



調査風景（南から）



遺構検出状況（南東から）

せせし
No21 堰西遺跡

所在地 大埜 704 他

調査原因 試掘依頼（依頼主：個人）

調査期間 令和4年2月28日～3月1日

調査面積 56㎡

調査担当 長谷川哲也

開発前の試掘依頼に基づき6箇所のトレンチ（テストピット）を設定して調査を実施した。地表下30～50cmで、茅ヶ岳南麓地域特有の褐色土（粘性・しまり非常に強い）の地山を検出した。また、調査地点の地山は、他の茅ヶ岳南麓地域の地山よりも酸化鉄を多く含んでいた。一部のトレンチで地山下層の堆積状況を調べたところ、地山下層には灰色粘土層（粘性・しまり非常に強い）が存在していた。なお、調査区周辺は大埜という地名で、「ぬた」は沼地や湿田の意味がある（『広辞苑』）。遺物は耕作土層から近世の土器片が数点出土した。



トレンチ1 (南から)



トレンチ3 (南西から)



トレンチ3 土層堆積状況 (西から)



トレンチ6 (西から)



トレンチ5 土層堆積状況 (南から)



調査前風景 (東から・奥の林は金山神社)

年 報 抄 録

ふりがな	かいしれきしぶんかしさんねんぽう				
書名	甲斐市歴史文化資産年報5				
副書名	令和2年度・令和3年度				
巻次					
シリーズ名	甲斐市文化財調査報告書				
シリーズ番号	36				
編著者名	長谷川 哲也				
編集機関	甲斐市教育委員会				
所在地	〒400-0192 山梨県甲斐市篠原2610				
発行年月日	令和5年〔西暦2023年〕3月31日				
令和2年度 埋蔵文化財試掘調査					
所収遺跡名など	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
金の尾遺跡	集落跡／墓域	古墳	竪穴建物跡	土師器	竪穴建物跡1軒、竪穴遺構3基を検出。竪穴遺構から甕、長胴甕などがまとめて出土。
包蔵地外（メガソーラー発電所／第3工区 - 1）		—	—	—	遺構・遺物なし。
松ノ尾遺跡	集落跡／墓域	古墳 平安	竪穴建物跡 土坑	土師器	敷地延長のため、本調査は実施せず。
辻台 A 遺跡（メガソーラー発電所／第2工区）	散布地	—	—	—	遺構・遺物なし。
包蔵地外（メガソーラー発電所／第4工区）		—	—	—	遺構・遺物なし。
峠の腰塚跡	生産遺跡	近世	灰原	土師質土器	令和4年度に本調査を実施。
松ノ尾遺跡	集落跡／墓域	古墳 平安	竪穴建物跡	土師器	敷地延長のため、本調査は実施せず。
令和3年度 埋蔵文化財試掘調査					
所収遺跡名など	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
高札前塚	その他（塚跡）	なし	なし	土師器等	遺物は耕作土中から数点出土。
松ノ尾遺跡	集落跡／墓域	なし	ピット	土師器等	遺物は旧水田面の床土、赤褐色土層（地山）から数点出土。
松ノ尾遺跡	集落跡／墓域	なし	なし	土師器	遺物は攪乱層から数点出土。
村続遺跡	集落跡	なし	なし	土師器等	遺物は攪乱層から数点出土。
松ノ尾遺跡	集落跡／墓域	不明	溝状遺構	土師器 石器	地表下100cmで遺構検出するも時期は不明。
環西遺跡	散布地	なし	なし	近世の陶器	褐色土の地山下層に灰色粘土層あり。

甲斐市文化財調査報告書 第36集

甲斐市歴史文化資産年報5

令和2年度・令和3年度

発行日 令和5年(2023)3月31日

発行 甲斐市教育委員会

山梨県甲斐市篠原2610

TEL (055)278-1697

印刷 青柳印刷株式会社

山梨県甲斐市長塚526
